

勝浦中学校改築計画基本構想

平成 21 年 12 月

勝 浦 町

1. 校舎改築の経緯

勝浦中学校は昭和 41 年 4 月に横瀬中学校と生比奈中学校が統合され発足した。現校舎は、昭和 41 年に着工後 2 カ年をかけ昭和 43 年に完成し、平成 4 年の大規模改修など増改築を経て現在に至っている。

町では、建築後 41 年が経過し老朽化が進んでいる現校舎の南海・東南海地震対策及び小中一貫校への対応等を調査研究するため、平成 20 年度に勝浦町公立学校改築・改修検討委員会（以下検討委員会という。）を設置し検討を行った。その検討結果として「勝浦中学校は単独校舎として現在地において改築することが望ましい」との報告がされた。

また、平成 21 年 6 月には校舎の耐震 2 次診断が終了し、その結果 I s 値は 0.23 となり、国土交通省が大規模地震等に対して倒壊または崩壊する危険性が高いとされている 0.3 を下回ることとなった。これらを踏まえ勝浦中学校校舎については改築を行うこととなった。

2. 現在の状況

現在の勝浦中学校敷地内には、校舎（分室を含む）、自転車駐輪場、体育部室、体育館、プール、テニスコートが配置されている。体育館は、昭和 43 年に建設され老朽化が目立っていたが、平成 20 年度に耐震改修工事を行っている。水道は井戸水を利用した専用水道となっている。情報関係設備としては、勝浦・上勝ケーブルテレビのプロバイダサービスと L G W A N との 2 系統により、インターネット接続や I P 電話サービスの利用が可能となっている。給食はセンター方式であり、給食センターからクラスごとに分けられ配送されている。

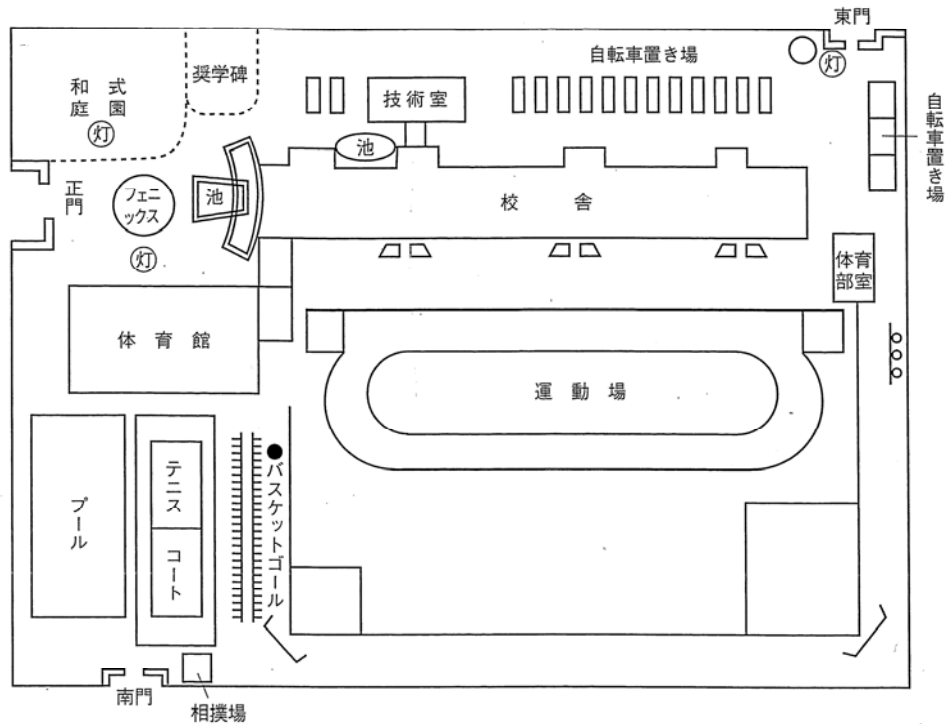
敷地周辺は、三方向が町道「勝中通学線」に、残り一方向が水路を挟み「久国学校線」と隣接しており、町道経由で県道 16 号線(上那賀線)までは 500 メートル程度の距離となっている。建物等の規模は、校舎延べ面積 3,833 m²、体育館延べ面積 1,072 m²、運動場 17,300 m²、校地面積 22,800 m²である。教室は普通教室 7、特別教室 14 であり、特別教室の配置概略は次のとおりとなっている。

- 1 階 技術室（木工、金工）、理科室（1、2）、調理室、被服室、美術室
- 2 階 校長室、職員室、保健室、L L 教室、音楽室、図書室、コンピュータ室
- 3 階 勝中文庫（会議室）、生徒会室、相談室

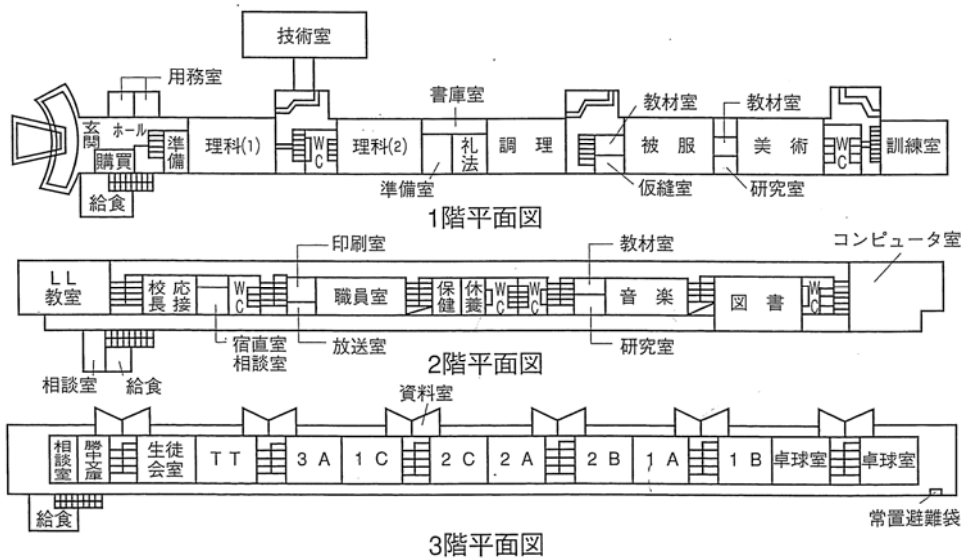
(1) 現在の配置等

学校施設等配置図

(1) 施設配置図



(2) 校舎平面図



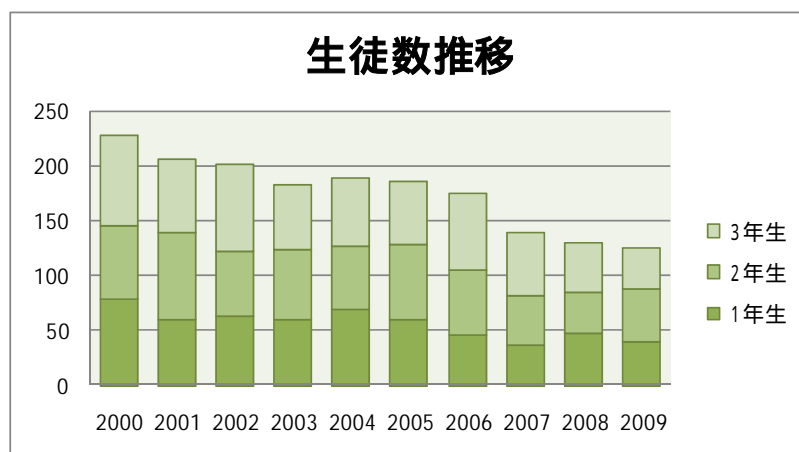
3. 生徒数の推移

勝浦中学校の生徒数は、2000年からの10年間で103人、約50%減少し、2009年には125人となっている。今後の生徒数の推計では、徐々に減少はするものの10年後の2019年には113人、10%未満の減少となり過去10年間のような大幅な減少はないものと見込まれる。

生徒数の推移（2000年～2009年）

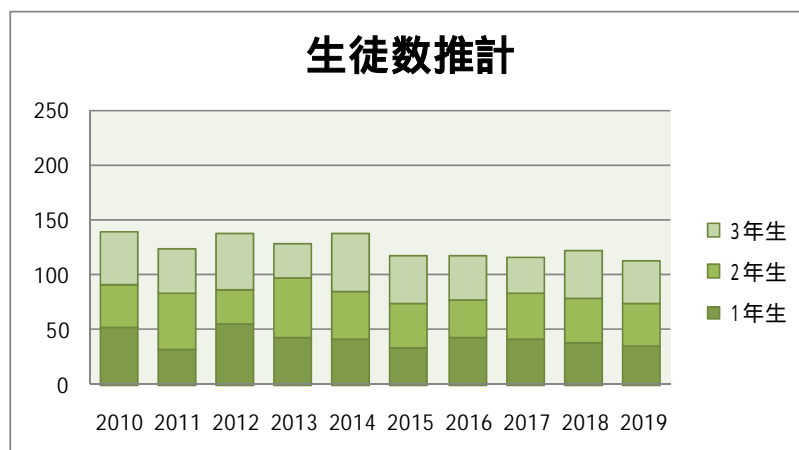
(5月1日現在)

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
1年生	78	60	62	60	68	59	46	36	47	39
2年生	67	79	60	63	59	69	59	45	38	48
3年生	83	67	79	59	62	58	69	58	45	38
計	228	206	201	182	189	186	174	139	130	125



生徒数の推計（2010年～2019年）

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
1年生	51	32	53	43	41	33	43	40	38	35
2年生	39	51	32	53	43	41	33	43	40	38
3年生	48	39	51	32	53	43	41	33	43	40
計	138	122	136	128	137	117	117	116	121	113



4. 施設整備方針

検討委員会報告の「特色ある学校づくりとして考えられる施設」の5つの柱をもとにし、教職員意見調査及び保護者アンケート結果を踏まえ、次の3点を中学校校舎整備方針とする。

<< 教えやすく学びやすい変化に対応できる多機能な学校 >>

生徒が1日の大半を過ごす場所であるため、居心地の良い環境であることや教師にとって教えやすい環境であることは重要である。その中で学習する力を身に付け、豊かな感性を育てる場として、ゆとりある落ち着いた環境を創出する。また、時代の変化に柔軟に対応できる多機能な施設整備が必要である。

<< 光や風など自然を生かした人や環境にやさしい学校 >>

近年地球規模の環境問題が世界共通の課題として提起されている。学校施設においても環境負荷の低減や自然との共生に対応した施設を整備するとともに、環境問題を身近に感じられる施設整備が必要である。

<< 安全・安心な潤いのある時間をすごせる学校 >>

生徒の安全安心の確保は大変重要な課題である。生徒が安心して学校生活を送れる施設としての整備のほか、災害時の避難所としても有効に利用できる施設整備が必要である。

なお、検討委員会報告は全ての町内公立学校の改築・改修の基本的考え方であり、中学校校舎の改築については、この報告を基本によりよい校舎改築にむけ、さらに有効に活用できる校舎を設計者とともに計画を進めることとする。

5. 基本的項目

(1) 校舎配置

検討委員会報告であるように、現在地において中学校単独校舎として改築を行うこととし、詳細については次のとおりとする。

- 改築は現敷地内で行うが、体育館、プール、テニスコートについては、現状のままとし、それ以外の施設について配置計画等を行う。
- 改築中の生徒の負担をできる限り軽減できる配置とする。
- 施設管理や防犯上の観点に配慮する。

(2) 施設構成等

施設の規模は、平成 21 年度の公立学校建物の校舎基準表の校舎必要面積を基本に設定する。普通教室は、今後 10 年間の生徒数推計に基づき 5 室（生徒数が最大となる平成 26 年度への対応として少人数授業用教室等を別に確保する。）特別支援教室も今後の動向を考慮し 2 室の設置とし必要面積を 3,174 m²とする。また、多目的教室（多目的ホール、少人数授業用教室など）として 333 m²、学習指導要領改訂に伴い平成 24 年度から必修化される武道・ダンスに対応するため武道場として 300 m²を見込むこととし、合計 3,807 m²程度を予定校舎総面積とする。

- 教室のあり方は特別教室型とする。
- 校舎は 2 階建て以上とする。
- 将来の学級数の変動や学習内容・学習形態等の変化に柔軟に対応できる室構成・構造計画とする。
- 各教室は採光、通風等を考慮し人と環境にやさしい計画とする。
- バリアフリーに配慮した計画とする。
- 校舎及び校庭に生徒や教職員が交流の図れる空間や施設の配置を考慮した計画とする。
- 現状で想定する教室は普通教室 5、特別支援学級室 2、特別教室・準備室（理科室、調理室、被服室、美術室、技術室、音楽室、コンピュータ室、英語教室、保健室、図書室、教育相談室、生徒会室）、校長室、職員室、用務員室、放送室、部室、多目的教室などである。
- 給食については、センター方式をとっているため、給食センターから配送された給食の効率的な配布ができる計画とする。
- 体育館、運動場、テニスコートは、社会体育施設として住民への開放がなされることを想定した計画とする。
- 運動場は社会体育施設として主に野球に使用しているため、通常の学校運動場機能だけでなく、野球グラウンド 1 面を確保できる配置とする。

6. 参考資料

(1) 保護者アンケートまとめ

(2) 教職員意見希望調査まとめ

中学校改築保護者アンケートまとめ

平成 21 年 10 月
勝浦町教育委員会

平成 21 年 9 月に実施した勝浦町総合計画策定の勝浦中学校保護者アンケートについて、中学校改築関係分の単純集計結果が判明したので、次のとおり取りまとめた。

1.概要

回答数は 78 件となっている。回答者の年齢は、35 歳から 49 歳までの方が 87.2% を占めており、性別では女性の方の回答が 78.2%となっている。居住状況については、「県外もしくは県内の他の市町村から転居」が 43.6%と半数近くとなっており、女性の回答者が多いこととの関連が想定される。

回収率、有効回答数など詳細は総合計画のアンケートということを勘案し、総合計画の全体集計に委ねることとする。

2.校舎改築について関心の高いもの

問8の「校舎改築にあたって関心の高いもの」上位3点を選択する設問の回答では、関心の高い1番目に「生徒が安心して過ごせる生活の場、子どもが主体的に学べる教育環境の充実」(78.2%)、2番目に「侵入や災害に対して安全・安心な学校」(56.4%)、3番目に「改築に係る仮設校舎設置など新校舎完成までの学習環境」(30.8%)となっており、子どもが安心して安全に過ごせる環境整備などに関心が高くなっている。3番目に関心の高いものとなった「完成までの学習環境」などでは、現在在学中の生徒の学習環境にも関心が高いことがうかがわれる。

また、その他意見としては「解体」や「小中一貫教育」への関心などの意見があった。

問8 中学校校舎改築について関心の高いもの

No.	カテゴリー名	%
1	生徒が安心して過ごせる生活の場、子どもが主体的に学べる教育環境の充実	78.2
2	侵入や災害に対して安全・安心な学校	56.4
3	改築に係る仮設校舎の設置など新校舎完成までの学習環境	30.8
4	将来の変化に対応する学校情報設備・環境の充実	20.5
5	地球環境にやさしいエコスクール・木の香る学校	19.2
6	誰にも優しいバリアフリーな環境	14.1
7	地域のシンボルとなる学校	12.8
8	生徒・教師のための様々な居場所づくり	9.0
9	改築にかかる経費	7.7
10	生涯学習や地域住民の活動の場となる学校の開放	6.4
11	その他	2.6
	無回答	0.0
	全体	100.0

3.施設環境として特に望むもの

問9の「子どもたちに用意してあげたい施設環境として特に望むもの」上位3点の選択する設問の回答では、最も望むものとしての1番目に「普通教室の充実（34.6%）」、2番目に「学年集会などにも利用できる多目的ホール」（32.1%）、3番目に「トイレの充実」（29.5%）となっている。

また、その他意見としては「現在の校舎は迷路のようであり、普通に建ててほしい」や「車いすの通行が可能な施設」などの意見があった。

問9 施設環境として特に望むもの

No.	カテゴリー名	%
1	普通教室の充実	34.6
2	学年集会などにも利用できる多目的ホール	32.1
3	トイレの充実	29.5
4	空調設備の整備	28.2
5	図書室・情報室などの充実	26.9
6	更衣室の充実	20.5
7	学年間の交流が図れるランチルーム	19.2
8	交流の場としての中庭	12.8
9	理科室・美術室・音楽室・技術室など特別教室の充実	12.8
10	教育相談などのできる設備	11.5
11	廊下と教室のオープンスペースの設置	10.3
12	地域と共用できる音楽ホール	6.4
13	エレベータの設置	3.8
14	武道館の設置	2.6
15	その他	3.8
	無回答	0.0
	全体	100.0

* 武道館については平成 24 年度から必修化される旨の説明ができていなかったため低ランクになったと思われる。

4.改築に関する自由意見

問10の「改築に関する自由な意見」では、前2問で回答の多かった安心や安全に関する意見やよりよい学習環境に関するもの、シンプルで効率的なものを求める意見などが多数となっている。詳細は次の通り。

- 快適な環境で勉強に取り組んでほしいので空調整備を希望します。
- 子供の数は決して多くないので、その分子供自身が落ち着いて学習できる教室やその他スペースを工夫してほしい。
- 仮設校舎での生活に不便がないようにしてほしい。

- 小・中一体
- もう少しせまくてもいい
- 少子化に向け小学校との統合を視野に入れた改築を
- 明るく風通しの良い今の教室がとても良いと感じています。又、場所も現在の土手側が最適です。
- 今の構造だったら不便なので、便利なようにしてあげてほしい。
- 奇をてらわないこと。”学び”の場であることを最優先に。職員室を1Fにしてオープンに。
- 華美でなくてもシンプルで耐震強度があり、火災などで避難しやすい校舎
- 効率のいい設計にしてほしい
- バリアフリーとエコ（太陽発電・オール電化）にしてほしい。
- 新しい校舎を早く造ってください。（大きな地震が来る前に）
- 子供達、先生方の声を反映させてほしい。

5.まとめ

設問 8 から設問 10 のアンケート結果をみると、「学び」の場としての堅実なものが上位を占める結果となっている。また、将来の学校建設だけでなく、現在在学中の生徒の学習環境への配慮が大きな課題ととらえられている結果となっている。

教職員意見希望調査まとめ

平成 21 年 9 月
勝浦町教育委員会

平成 20 年度 21 年度に 2 回実施した中学校改築に係る意見調査について、次のとおり取りまとめた。個々の意見詳細は資料 に掲載する。

設問 1 校舎の位置

現在の場所への建て替えが良いとの意見が多数ではあるが、生徒への負担や費用を考えた場合他の位置への設置も検討すべきとの意見もあった。校舎を半分ずつ取り壊すなどの方法で仮設校舎を設置せずに現在地に改築するような方法の提案もあった。

設問 2 特別教室型・教科教室型のどちらが良いか

特別教室型が良いとの意見がほとんどである。生徒の結びつきや学級を考えた場合には特別教室がより良いと考える意見が多かった。

設問 3 普通教室を配置する階及び普通教室についての意見

普通教室の配置については、不審者対策、安全面などから 2 階以上の階への配置が多数となっている。採光や通風、健康面への配慮や、ロッカーを大きくしたいなど収納環境への対応が必要などの意見も多くなっている。

設問 4 特別教室についての意見

個々の教室のスペースの拡大や収納環境の充実の意見が多くなっている。準備室が必要との意見もあった。

設問 5 特別支援学級関係室の意見

教室の広さを変えられる、仕切れる設備の必要性や、調理設備・コンピュータ・収納整備が必要との意見となっている。また、集中できるようにするためにすりガラスの採用などの意見もあった。

設問 6 多目的教室の意見

講義室や音楽ホールなど多目的に利用できるホール（100 人から 150 人程度収容）及び小規模の仕切りができる多目的教室や多目的なスペースの希望が多くなっている。多岐にわたる意見が多くなっており、いろいろな使用方法に期待されていることがうかがわれる。

設問 7 教育相談室の意見

今後は必要との意見が多数となっている。相談者への配慮が必要との意見が多く、会議室との共用や保健室近辺への配置などの意見もあった。

設問 8 進路指導室・部室・生徒会室などについての意見

いろいろな意見があり多目的教室を有効に利用することが必要と考えている意見が多かった。放送室や生徒会室は必要との意見は多いが、その他室は個別の意見調整が必要と思われる。

設問 9 食堂・ランチルームについての意見

ランチルームの必要性は感じていない意見が多くなっている。食育などの目的は他のものでも可能であるとの意見が多くなっている。また、必要に応じて多目的スペース等での代用も可能でないかとの意見もあった。衛生管理面の上では必要性があるとの意見もあった。

設問 10 保健室・校長室・ロッカー・その他等についての意見

保健室、職員室、校長室、用務員室は1階への配置意見が多くなっている。校長室も含め各教室とも余裕のある広さと収納スペースが必要であり、それぞれ給湯設備も必要との意見となっている。保健室には器具洗浄の流し台や洗眼機などの設置意見もあった。また、生徒や教職員が気軽にくつろげる場も必要との意見もあった。

設問 11 学校開放についての意見

管理面や不審者対策との兼ね合いが難しいとの意見が多くなっている。同一施設の開放は難しく、同一敷地内でも別施設としての開放が問題が少ないようである。花壇や公園などを開放する意見もあった。

設問 12 エコ対策についての意見

採光や通風を考えた対策の意見が多くなっている。木のぬくもりが感じられる施設の意見もあった。

設問 13 武道場についての意見

必要との意見が多数となっている。多目的室兼用とする意見もあった。

設問 14 便所についての意見

清掃のしやすいトイレの意見が多数となっている。和洋両方の設置が必要との意見

もあった。

設問 15 安全・防犯についての意見

インターホンの設置希望が多くなっている。うがい手洗いなどがしやすいよう廊下への手洗い場設置意見もあった。

設問 16 バリアフリーについての意見

エレベータやスロープの設置意見が多数となっている。

設問 17 空調設備・緑地等に関する意見

自然を利用した過ごしやすい環境を整えながらも、冷暖房設備は必要との意見が多くなっている。花壇や芝生の整備などの意見もあった。

勝浦中学校校舎改築に係る意見希望調査(中学校教職員)

設問	意見
1 校舎の位置	現在の校舎は、実際使用していない教室が4～5ある。改築中は、多少の不便はあると思うが、校舎を西側、東側に分断し、まず 教室等を東側に集め工夫配置する。そして 西側を解体。改築後は、教室等を東側より西側に移動。このように出来れば仮設教室は必要がなく、予算の削減になる。小松島小学校(H.11年)の改築工事は、このように進められたのですが…。でも保健室が、校長室と兼用でスチール戸棚で仕切られた状態で使っていましたが…。
	現在地での改築(勝浦側の流れ、川原の景色が見える場所が好ましい) 仮設校舎は避けたいが、工事の都合上必要であればやむをえない。
	現在地でかまわない。
	校舎の位置においては今のままでいい。なぜなら周囲に農家の人達が作り物をしている関係で、今のままの方が問題がないと思うから。 仮設校舎においては今の位置なら必要だと思いますが、どこか町内の学校の教室が使わせてもらえるならそれでもいいと思います。
	仮設を建てたら、そちらへの引越しとそれから新校舎への引越しと2回行くなるし、費用もかかる。しかし、現在の運動場の南の位置に建てたら、生徒は、新しい校舎が建つまで、平常の生活を旧校舎でくれるし、仮設の費用もいらない。 自転車置場・体育館・部室への移動時、雨にぬれないような位置を考えてほしい(自転車でカッパを着てきた生徒は、傘を持っていないため)
	校舎の南側にグラウンドがあるのが理想です。仮設校舎をグラウンド役場寄りに建てて現在の校舎の位置に建て換えるのがよい。30年は使うのですから。
	現在地にほぼ近いところだと思いますが仮校舎での学習は本当に今のところが一番よいが仮設校舎をたてるとよけいなお金がかかるので、半分ずつたてるとかできるとよ
2 特別教室型・普通教室型のどちらが良いか	特別教室型
	特別教室型...理由:学級集団としての結び付きの育成。生徒の心の安定。
	特別教室型...理由:生徒にとっても、教員にとっても学級という単位はとても重要だと思う。この学級集団が学力向上にしても学級という生活集団。あってこそ安心して学習にとりくめるのだと思う。
	特別教室型...理由:日本では学級が母体であり、学級での活動やまとまり、所属感を大切にしたい。
	特別教室型...理由:よくわからないが、従来型がよい。
	特別教室型...理由:教科教室は生徒自身の自主自立ができていないと授業時間を守るとか忘れ物とかのいろいろな問題が出てくる。自分達の学級(居場所)は気持ちの上での安心感があり必要だと思う。
	教科教室型...理由:学年事の教室も必要だと思うから。学年によって話がある時、教科書等を置くにも決まった部屋が必要だから。
	それぞれ良い点・悪い点等がありどちらとも言えない。教科教室型は、教科担当が授業の事前準備をしやすいし、教材等もその教室においておくことができすぐ使用できるという点が良いが子どもにとっては、自分のおちつける教室は必要。特別教室型で、特別教室の数を増やすのが良い。
	特別教室型...理由:教科教室型は日本人には向かない。
	特別教室型...理由:生徒の移動が大変と思う
特別教室型...理由:決まった自分の居場所が確保できている方が落ち着いて生活できると思う。朝夕の学活も自分の荷物がある場所の方が便利かと思うが	
特別教室型...理由:小中はクラス単位で活動することが多いと思うので	
3 普通教室を配置する階はどの階が良いか。普通教室についての意見	明るく風通のよい教室。
	他の先生の意見ですが、自転車置き場を1Fにするのであれば教室は2F?雨天時の部活スペース。通風のよい教室に。換気設備の設置を是非お願いします。シックハウス対策。新型ウィルス対策。
	2～3階がよい。プロジェクター用スクリーン、職員とつながるインターホーンもほしい。
	2階 十分にゆとりのある広さ。大きなロッカースペース。
	2階 不審者対策。
	できることなら2階。ロッカーはもう少し大きい方がいい。教室に更衣室はいらない。連絡黒板は大きい方がよい(できれば移動式で)
	3Fでよい。ロッカーは人数が減っている分、もうすこし、ゆとりのあるたて長のロッカーでいいと思います。
	体育館のように壁の下側に窓があるとすずしいのではないかと。教室 体育館、教室 給食棟、教室 玄関等の動線を考えた位置。ロッカーは1人分のスペースを広く。朝のプリント等を収納できるスペースも
	2階か1階
	2F 安全面から
各教室にデジタル黒板を設置してほしい。教室は西向き、室内は明るく天井は高く。給食を運びやすいように1階を普通教室に。	
黒板は西向きにする	

設問	意見
	スクリーンの常設 暗幕は前方につける 明るい教室(城東高校) 明るい壁の色 教室廊下の壁面は掲示しやすい素材で、落ち着いた色のある色で(上勝中参考) 教室のロッカーは一人分のスペースを大きいものにしてほしい
4 特別教室(理科教室等)についての意見	原則として授業に使用する教室と地域の方が使う教室は別にしてほしい。 書道教室があればよいが、無理であれば美術教室は美術と書道で共用できるものに。 外国語教室においてはコンピューター室の様な机で横向き(横一列)で、リスニング機能を充実させるのに1つ1つの机につけてもいいと思います。 特別教室などの部屋も収納を多くしてほしい。教材備品等の保管のため。 生徒数を考えて机の数をコンパクトに、広く使えるように。 外国教室...使用教材や機器も多くできるだけ個別に設置してほしい。 美術 洗い場は広く あまり種類を増やすと、維持管理が難しいのでは(生徒数が少ないので清掃分担が着かない等) 視聴覚室の充実 ビデオライブラリー等教室の授業以外で体感できるようにする 技能教科の施設充実 音楽室の充実 図書室(冷暖房・ゆとりある広さ・所蔵図書数と種類の増) 広い調理室 コンピュータ室の充実(インターネット環境の整備) 被服室に準備室・作業ができる広さの手洗い場が必要 美術室に換気扇を(糸のこ使用時の粉じんやニス使用時の生徒の健康のため) 調理室に準備室が必要 調理室にぞうきんが洗える手洗い場 調理室の収納棚を十分な広さに
5 特別支援学級関係室の意見	教室の広さが変化することができるようにすれば色々な場面に対応できる。 教室内に水道や簡単な調理ができる設備がほしい。広いスペースをとって運動できるように。 職員室の近く。 教材教具が配置できたり、整理できる設備があるといい。教室を区切れる間仕切りができるようになっていると便利かも。 外からの情報が入って集中できない場合もあるので、ガラスはすりガラスにしてほしい。 1階が外での作業学習もしやすくしてほしいと思う。 コンピュータ配置。なるべく広く障害によっては学習の際1人1人しきった空間が必要。目的別(学習・休憩等)のスペースが必要。収納するのもたくさんなので、収納場所の確保 必要とは思いますが詳しいことは担当の先生に
6 多目的教室の意見	1学年の集金 部活動の打ち合わせができるようなスペースがほしい。 ランチルームをもし造るのであればAは、兼用出来るのでは。あまり沢山の部屋を造っても生徒数が減少している中、生徒を清掃配分できにくいし、先生方も実際清掃箇所の指導に目が届かない。 学年集会ができるホールはぜひほしい。 ぜひ必要。 学年全体ぐらいが収容できる広さが良い。 あれば大変べんりな教室のような机やイスでない方がいい。ワークショップ形式の授業に活用しやすい。 学年集会が行えるようなスペース。でも、会議室と兼ねることはさけてほしい。 移動可能な壁などで仕切られるのがいい。仕切る必要のないときはオープンスペースとして広く活用。 1,大...学年集会等 2,小...個別に指導できる部屋(進路、生徒指導等) 3,小...先生方の小会議等あればいいと思う。 音楽ホールにこだわらず100人程度が一度に入れ話が聞ける(講演など)ホールがあると便利。 様々な活動に使用できる多目的ホール(講議室になったり、音楽ホールにもなったりして150人は入れる部屋)があればよいと思う。 体育館に入らなくても集会や講話音楽会が出来るホールがほしい。

設問	意見
	<p>全校生と保護者が集える多目的ホール 学年集会ができるような多目的教室 講演や集会・合同学習・交流学习など多目的に利用できるオープンスペース 多目的ホール 学年集会や総合学習ができる広いスペース 学年の発表会ができる部屋 じゅうたん敷きの施設(図書室・多目的室・・・ストレスだらけの子どもにほっとできるスペース) 多目的ホール(学年単位の集会活動に利用 多目的ホールの左右に図書室・コンピュータ室があれば効率的であり指導しやすい) 多目的教室</p>
7 教育相談室の意見	<p>設置してほしい 校長室・職員室・保健室の同じ階に設置。運営上連携が取り易い。 スクールカウンセラーも設置されており必要であるし、生徒指導面でも必要。また、保護者が来室時に目立ちにくい場所という配慮が必要。 利用しやすい場所と雰囲気 ある方が良い。だれでもが入りやすい明るい場所。普通教室とは少しはなす。 これからは必要。プライバシーが確保されるように。 カウンセラー室は教室から離れた所で職員室の近くがよい。 カウンセリング室は、外部からの相談者に配慮し、1階玄関の近く等わかりやすく、訪問しやすい場所への配置が望ましい。 保健室と隣り合う。 教育相談室...カウンセラー室のことなら上記(設6)の3で対応が望ましいと思う。 保健室の横あたりに。 カウンセラー室は外部からの利用も考え、来庁者がわかりやすく入りやすい場所へ設置してほしい</p>
8 進路指導室・部室・生徒会室などについての意見	<p>あまりこまごまと部屋を設けるより、多目的ルームのような部屋を作り活用する方が無駄がなくなるように思 放送室、進路室、生徒指導室、生徒会室においては狭くてもいいので、各教室は必要。部室はなくして、部活の道具をまとめて保管する1室を作り、保管には棚式でカギをつけて各部事に保管すればよ 部室は、それぞれの部が使いやすい位置に(バスケ・バレーは、体育館の近くとか、野球部は内野の近 放送室はほしい。生徒指導と進路指導は共用。部室は目が届くところへ。生徒会、委員会、ボランティア 等は広い部屋を間仕切りなどで分けられるとベスト。 委員会室や講堂、クラブハウスは必要ないと思う 小中合同の行事や家庭との会議に会議室が必要。生徒の活動の場とは切り離された会議 室が必要 各学年で少人数指導ができるよう特別教室を2～3部屋つくる 地域の人を招いて講演会ができる施設 部室の充実 校舎本館近くにミーティングや室内トレーニングができる広さのスペース 雨天時の部活スペースを兼ねて、一階を自転車置き場に</p>
9 食道・ランチルームについての意見	<p>食堂ランチルームは衛生管理のうえでも必要である。 なくても食育の推進及び学年間の交流の目標達成は可能。個人的には なくてよいと思う。ランチルームの利点(日和佐中)...普通教室の床等が汚れない。5時間目の授業が給食の臭いのない教室で受けられる。集会活動等の場として兼用できる。全校生徒への連絡や指導が一斉にできる。が、生徒は、食事をするときぐらい人に気を使わず学級団で好きな人とおいしく給食を食べたいようでした。 あればよい。 特に必要はないと思う センター方式の給食では、配ぜん等を誰がするかに課題があるのだが、それをどうクリアするか 給食棟からの動線も考えた位置に食堂は必要ないと思う。 弁当が理想ではあるが、現状であれば食堂・ランチルームは無理。手間がかかる。 教室で食べる方がよいのでは？クラスのつながり。 必ず設けなければならない部屋ではないと思う。食育について外部より講師をお呼びしてお呼びしてする際などには便利だが。管理は誰が？そろりまで全員が待つ等約束ごとを決めるといろいろ不便なことも多いと聞く。必要な時には、多目的スペースで皆で食事(?) ランチルームを使ったことがないのでわからない 生徒の給食後の歯磨きの場所の確保</p>

設問	意見
10 保健室・ 校長室・ ロッ カー・そ の他等 につい ての意 見	<p>職員室、校長室は広く。収納スペースをとる。</p> <p>保健室...別紙資料 にかかせていただいたとおりです。職員室...職員室とは別に(ベランダ?)手洗い・歯みがきスペースを確保してほしい。給食を食べている横で歯みがきをされるのはちょっと...。</p> <p>夏休みや放課後に利用できる自習室があればよい。</p> <p>玄関の所の近くに用務員室・職員室・校長室・保健室をおく。物を保管する倉庫・準備室の空間は今より広めにしておく棚の充実をさせる。用務員室にはミニキッチンと冷蔵庫・ガスコンロを充実させてほしい。あと(用務員室)ガラスケースの棚の充実。男子・女子の各更衣室も必要。</p> <p>用務員室は運動場から靴のままでも入れるようにしてほしい。消防出初め式や勝浦川マラソン時に湯茶の用意等に用務員室を使ってもらえるように。</p> <p>職員の休憩室があるといい。</p> <p>リフレッシュルームがある学校もありますが、倉庫は各教科にあるといいのですが</p> <p>保健室は体育館・グラウンドに近い1階の教室がよいと思う。</p> <p>教材室の確保(備品の収納場所、授業の有効的備品の活用は学力をつけるのに効果がある)</p> <p>湯の出るシャワー(生徒の外傷の洗浄等にとても良い)</p> <p>廊下に腰をおろして会話ができる場(小松島中)</p> <p>職員室と保健室は同じ階が良い(授業に行く先生が生徒に声が掛けられる。来校者と顔を合わせられる場所に位置していると安全面でも良い)</p> <p>保健室...器具を洗浄する流し台、洗面台に洗眼器が必要</p> <p>職員室・保健室...廊下に窓が付いていて、生徒の様子が見える方がよい・エレベーターが必要(障害のある生徒や、災害発生時の搬送等に必要)(日和佐中)</p> <p>職員室は一階に(不審者対策)</p> <p>保健室・収納タイプのベッドは弱い、体格の良い中学生には不向き(壊れやすい)</p> <p>校長室を広くし、ソファセットと、会議机を置き20人くらいなら校長室で対応できるようにしてほしい</p> <p>校長室や会議室の横に給湯室を確保してほしい</p> <p>収納部屋を確保してほしい(L字型に棚を設置してほしい)</p> <p>職員室も収納を考えた作りしてほしい</p>
11 学校開 放につ いての 意見	<p>お年寄りやボランティアの方と一緒に花植えなどができる花壇などがあるとよい。</p> <p>不審者対策とのかねあいはどうすべきかが大切。</p> <p>管理という点では問題も多いように思う。</p> <p>非常階段はカギをしたままにして1Fから出入りをする(職員室等が1Fにある時)。各階は全てローカでつないでほしい。今のままでは外側にローカがある為雨が降ると濡れるので、移動にも不便。</p> <p>休日や時間外のかいほうはさけ、勤務時間内に施設をかいほうするか、学校に隣接した施設にすればいつでも自由に誰でもが活用できる。</p> <p>同敷地内でも別施設が戸じまり等の関係でのぞましいのでは。</p> <p>今の場所より外側に広いスペースがとれるなら公園を造ってもよいが、今の敷地面積なら必要ない。それより昔のようにさくらの木を川にそって植えてほしい。</p> <p>保護者がいつも参観できるオープンスクール(その場合防犯対策として、名札・各教室 にインターホン・施錠ができること。子どもの現状を保護者や地域の方に実際に見てもらふことが必要)</p>
12 エコ対策 につい ての意 見	<p>太陽光を利用した自家発電は、いかがなものでしょうか。</p> <p>生徒への意識付けの意味でも必要である。</p> <p>最大限に自然の光や風をとりいれる。</p> <p>太陽光パネルで発電したりコンポストを設置するとよい。</p> <p>階段においてはレンガづみをしたかいたんにしてほしい。階段の半分くらいから上に土を入れるようにして。木は必要。あと池においては今のはこわれてきているので排水をもう少しよいように考えてもらい、まん中にくだってくるようなかんじでゆるい坂にもらうと水をぬいてそうじするのも楽だし、池に石をおかず橋(広めで大きい)をつけてもらって影を作りそうじしやすくしてほしい。</p> <p>光のよく入る教室。でもまぶしさ対策は必要。</p> <p>木造がいい。</p> <p>予算があるなら。</p> <p>木のぬくもりが感じられる建物 床・廊下・教室の内装が木</p> <p>木のぬくもりが感じられる校舎</p> <p>太陽光発電を取り入れる(環境と経費削減)</p> <p>木の香りのする校舎</p> <p>太陽エネルギーの利用等エコの視線にたった施設・設備(天窗等で採光を考える)</p>

設問	意見
13 武道場 について の意見	<p>保健体育科に武道の分野があり利用することができる。 ぜひ、必要である。 武道以外にも使えそうなのであればよい。 部活動数の減少を考えると体育館等を活用すべき。 必要である。剣道場のみの施設は必要。 武道場は校舎内に作ってほしい。天井は高く(暑さ対策)2階までの吹き抜けに。 保健体育科で武道は必修となるので必要とは思いますが、剣道部が今後存在し続けるかは疑問である。だからいろいろな活動ができる多目的室をかねて作ってほしい。 武道場は小会議(生徒の)スペースにもなります。いいと思います。 武道館希望 - 校舎内でOK 武道館と人形浄瑠璃舞台が一緒になった施設 武道館を校舎内にあれば部活の活性化につながる 武道場・・・中学校武道必修かにより必要。現在、体育館を使用する部活は3つあり、そのうちの一つは交代で屋外で練習している。 剣道部の練習場所確保</p>
14 便所について の意見	<p>トイレは清潔を保つことが大切なので清掃のしやすいつくりの方がよい。 是非必要です。便所内に清掃道具を収納できる扉付きの収納場所を造ってください。(日当たりのいい所)。各階とも東西に1つずつ男女別の便所が必要。(横小は3Fには、東側には便所があるが、西側にはないので不便。) 併設が必要。トイレトーパーが簡単にセットできるように。そうじがしやすく、水に強く耐久性のあるもウォシュレットが必要 清掃のしやすい、清掃用具入れが清潔にできる設備をおねがいしたい。洋式トイレはケガの種類によっては必要。 洋式のみにして手の届く位置にトイレトーパーの設置をするのと扇気の充実。 洋式トイレは足をケガした時など絶対に必要。各トイレに1つはあってほしい。におい対策のため、ウェット清掃できるように水がかかっても、個室のドアがささくれだったりしない素材を利用してほしい。ゆかには水切れのよい素材と排水口の位置を考えてほしい。 目が行き届きにくく一番最初にこわれる場所となりがち。しっかり作ってほしい。 和・洋・両方必要です。 各学年で使える手洗いとトイレ。洋式トイレは各学年男女それぞれに必要である。 両方あれば足をけがして子も使える トイレのペーパーホルダーは2つ必要・手洗い場には水石けんの容器は不要 トイレはウエット清掃ができるように(臭い対策)個室の扉は水がかかっても、ささくれ立ったりしない工夫や、素材を使用してほしい</p>
15 安全・防 犯につ いての 意見	<p>インターホン・テレビカメラ等の設置。 手洗場...生小・横小のように廊下に設置してほしい。今回の新型インフルエンザ予防対策にみられるように、生徒が朝、登校してきたら教室に入る前にうがい・手洗い等を行うことにより感染拡大を防止できる。 又、旧食後の歯みがきの指導も徹底できる。 教室にはインターホンがほしい。 防犯カメラ等不審者対策等には万全をつくすべき 玄関のみ開放にして、近くにガラスばりの職員室があれば人の出入りも分かりやすいと思う。半分上をガラスの窓にしてブラインドをつけてテスト前とかはブラインドをおろして外から見えにくいようにすればいい。ただし入り口においてははしない方がいいと思います。 不審者対策のための生徒の昇降口は1ヶ所にしてほしい。 不審者対策として教室は1階よりは2階がいい。地震(火災)対策として教室は2階よりは1階がいい。 入口 生徒用・職員用・各1つ。外から(ナンバーで)オートロックがよい。 外の門を閉める。サイクリングロードに外灯がほしい。学校の敷地内も夜はくらい。 教室にインターホンを設置 避難しやすい教室や廊下の配置 緊急地震速報装置</p>
16 バリアフ	<p>エレベーターの設置等。 段差をつくらず、穏やかなスロープにする。階段はやむをえないが敷地が広いので校舎は2階までが望</p>

設問	意見
リーにつ いての 意見	スロープ・エレベーターの設置 玄関のスロープや3階以上であれば特別の場合利用できるエレベーターがあるといい。 段差のない玄関。階段には両端手すりつき。 車いすで学校生活をおくれるために、車で送ってもらった、生徒が教室までスムーズに来られるようにバリアフリー対策。視力の悪い人でもよくわかるような教室、教室案内表示が必要。 エレベーター・スロープの設置。 特別教室においても、車椅子で移動のできるスペースを考えた部屋の広さの計画が必要である。エレベーターがあればよい。 バリアフリーにしてほしい(エレベーター)体育館のスロープも考えてほしい。 バリアフリーにつながる建物 バリアフリーの校舎・施設(スライド式のレールのない扉) バリアフリーを心がけた段差のない建物(スロープ、てすり・エレベータ等) エレベーター(足が不自由な生徒や荷物の上げ下ろしのため)
17 空調設 備・緑地 等に関 する意見	自転車置き場を雨の入らないようにする。冷暖房設備の充実。ろうかの手洗い場の設置。風の向を考え、日当たり等も考えてほしい。 もしランチルームを設置するのでしたら、エアコン設備、換気システムの設置 花壇の整備をしたい。 風の通り抜け等を考えて涼しく。中庭(憩いの広場)のようなものも望ましい。 全教室もしくは全館冷暖房完備 部活動においては経験者をおく。(コーチもいればよい。)中庭は必要ないが駐輪場の屋根を今よりもっと充実したものにしないと今のようなものでは雨にぬれて効果はあまり見えない。給食棟のカギは全て同じものにし、1つのカギにしてほしい。洗面所には鏡をおく。ローカは外には作らない。1つのかいは長いローカでし、各教室を行きやすく。家庭科室・美術室・職員室・用務員室・保健室・各学年教室の窓に網戸の配置。あと給食棟も。虫などが入らないし、扇気もしっかりできて、衛生上いいから。 放送設備は体育館・グラウンドにも、放送が入るようにする。それに加え、各教室で放送を切れるように(会議の時) 野球グラウンド内野を黒土に外野を芝に。無理ならせめて校舎の前に幅2m程でも芝を植えてベンチなんかあるといい。広葉樹できれば季節によって紅葉し、葉が落ちない。 空調設備 必要と思います。 高校のように電気代を1人いくらか集めて各教室に空調設備をつけてほしい。 各教科・部活動の専門教師を確保 全教室に冷暖房設備(学習の効率化) 中庭のような居場所作り 中庭スペース(くつろぎ空間) 窓・トイレ・廊下等のメンテナンスの計画・費用設定 ゴミ分別所の設置 ~ 全ての取り組みの基本は、人権教育にある。地域・保護者・教員が人権教育にしっかり取り組むことで、よりよい方向へ育つと信じています ベランダの手洗い場は必要である 手洗い場はすべてステンレスにしてほしい 手洗い場には大きな鏡を設置してほしい(上勝中参考) 校舎から体育館への通路を渡り廊下で、雨の日でも大丈夫なように。下靴と上靴の区別をはっきりさせる 校舎内だけでなく、屋外や体育館にも切り替えにより放送が流れるようにしてほしい 校舎内教室の鍵はマスターですべて開くようにしてほしい 給食用リフトは大きく(車椅子を使用するものが入れるスペース)して、怪我をした生徒も不便なく教室に来られるようにしてほしい
18 整備方 針の	たっぷりスペース(1つ1つの部屋や広い、できれば天井も高く)シンプルで丈夫。ユニバーサルデザイン 職員室を中心とした教室配置。全館空調設置。太陽光パネル・バリアフリー・防犯の各面を考えた設計。 耐震 コンパクト(余計なものは極力はぶく) ふるさとのよさが感じられる学校(人とのつながり)